

(財)町田市勤労者福祉サービスセンターが モデルサービスセンターに

中小企業で働く勤労者の福利厚生をサポートするために市が設置した(財)町田市勤労者福祉サービスセンターが、厚生労働省から「モデルサービスセンター」に指定されました。



モデルサービスセンターに指定されました

これは、全国で初めて民間福利厚生代行会社に業務の一部を委託するなど、新しい発想で事業の活性化に積極的に取り組み、充実した事業内容ときめ細やかなサービスを実施していることが評価されたもので、全国の183団体から町田市を含め9団体が選ばれました。

同センターが主に行っているサービスは慶弔見舞金の給付、健康診断の補助や保養所等の提供で、今後とも利用しやすいサービス環境を整えるため、ホームページに加えて携帯電話からの申し込みを可能にするなど、各種サービスの充実を図っていくということです。



(町田市医師会)

これって水虫?

「どうしましたか?」
「実は水虫なんです」

皮膚科の外来でよくあるやり取りです。こういった場合、多くは足の裏、あるいは手のひらに、かゆみのある小さな水疱ができたために受診しています。でも、本当にそれは水虫なのでしょうか?

この後、時に「実は、市販の水虫の薬を塗っているのですが、一向に良くならないんです。やはり市販の薬では駄目みたいですね」といった具合に話が続いていくことがあります。

実は、こういった場合は、水虫の薬が悪かった訳ではなく、最初から水虫ではなかったのでもとと効くはずがなかった、だけのことが非常に多いのです。

俗に水虫と言われるのは、白癬菌と呼ばれるカビの一種が足の裏、あるいは手のひらに寄生することによって起こる諸症状です。症状は、初期にはかゆみのある水疱や膿疱、皮むけ、最後には角質が硬く厚くなる、爪が濁って厚くなる、などです。

ところが、全く同様の症状が、他の原因で起きることがあります。こういった疾患はいくつかありますが、最も代表的なものが汗疹あるいは汗疱などと称される疾患です。これらは、水虫とは全く治療方法が異なりますので、正確に診断しないとけません。

しかし、これらの疾患は、専門家であつても肉眼で見ただけでは水虫と区別するのが困難なことも多く、病巣の一部を顕微鏡で調べて、白癬菌の有無を確認する必要があります。この時、既にしばらく水虫の薬を塗った後だと検査結果に影響を与えて、正確な診断が難しくなります。この時、既にしばらく水虫の薬を塗った後だと検査結果に影響を与えて、正確な診断が難しくなります。

「水虫かな?」と思っても自己判断はせず、きちんと診察を受けるようにして下さい。

事業者の皆さんへ 町田市商店街の 活性化に関する条例 を制定しました

商店会への加入、商店街事業への協力を!

この中で特に、商店街を構成するすべての事業者の方に対して、商店会への加入と、商店街活動への応分の負担などの協力を求める努力義務を明記しました。

市は、地域に密着した商店街の発展に中心的役割を担う商店会を支援するため、事業者の商店会への加入促進と商店街活動への協力を推進する条例を10月17日に制定しました。

【条例の主な内容】

この条例では、商店街の活性化は、商店会及び事業者が相互に協力し、自らの創意工夫と自助努力により主導的役割を担い、商店会、事業者、経済関係団体及び市が連携・協働して、市民の理解と協力のもと推進していくことを基本としました。

使用済み注射針の回収を 薬局で始めます

町田市薬剤師会では在宅医療廃棄物の適正処理を目的として、11月1日から市内の保険薬局で在宅医療での使用済み注射針の回収を始めます。

回収方法は、保険薬局で注射針を購入の際に、専用の患者用保管容器をお渡しします。

使用済み注射針を保管容器に入れ、一杯になったら容器を受け取った保険薬局へお持ち下さい。

回収薬局のポスター



消費生活センターから

個人情報保護法が2005年4月から全面施行されました。個人情報保護法で規定する個人情報とは、生存する個人の情報があつて、氏名、生年月日、住所、電話番号、家族構成など、特定の個人を識別できる情報が該当します。

わたしたちの大切な 個人情報を守るために

本人の同意を得ないで第三者に情報提供してはならない。漏れを防ぐために安全管理し、従業員や委託先を監督しなければなりません。本人の請求により情報を開示し、誤りがあれば訂正しなければなりません。

消費者は、事業者に対して「私の個人データを見せたくない」「この個人データは、間違っています」「データの利用を止めて下さい」などの請求ができます。個人情報は思わぬ

ところで、悪用される可能性があります。日常生活の中で入手した自治会の連絡簿、会社の社員名簿、学校の卒業生名簿なども売買されているとされています。これらの情報の一部が不当請求や振込め詐欺などに悪用される恐れもあります。



町田警察署生活安全課 ☎722・0110
町田市安全対策課 ☎724・3254

空き巣の防犯対策

市内の侵入窃盗は減少傾向にあるとは言え、まだまだ被害は後を絶たず、1日平均1・6件発生しています。そこで、被害を防止するための対策を紹介します。

【防犯対策】

「空き巣」の侵入手段は、約5割が「ガラス破り」、約1割が「無施錠」という結果となっています。

つまり「家の戸締まりをしつかりしてもらうこと」と「ガラス破り対策」を行えば、約6割の「空き巣」被害は防げるといわれています。

1鍵(錠)の対策について
ワンドア・ツーロックとガード
プレートの設置

補助錠を扉の上部等に取り付けましょう
補助錠を追加すると、不正な解錠に要する時間が長くなり、犯行を諦めさせることができます。

扉の隙間を塞ぐため、ガードプレートを取り付けましょう
扉の隙間にボールやドライバが入らなくなりますが(価格は約1万5千円~3万円)。

2窓ガラスの対策について

(1)防犯フィルムの装着
ガラスの内面に防犯フィルムを張り付けると、ガラスを破壊する時間が長くなり、破壊する際に騒音が発生する等、ガラス破りによる侵入が難しくなります。

(2)補助錠の設置
補助錠をガラスの上部に取り付けると、不正な解錠に要する時間が長くなり、犯行を諦めさせることができます。

(3)防犯ガラスの設置
窓ガラスを2枚以上のガラスに樹脂で挟んだもので、合わせガラス(一種)に交換すると、窓ガラスを破壊する時間が長くなり、破壊する際に騒音が発生する等、ガラス破りによる侵入が難しくなります。

(4)面格子の設置
トイレの窓ガラス等、高所の小窓に強固な面格子を取り付けましょう。出窓や緊急時の脱出口とすべき窓には、防災上の理由から従来の面格子は向きませんが、最近、防災上の支障がない可動式の面格子が販売されています(価格は大きさ等により業者により異なります)。

(5)防犯器具等
簡易取付け式のセンサーアラーム、センサー付きライト等の防犯器具は、センサー機能と警報・検知機能が一体化されており、かつ、簡易に取り付け

町田警察署・町田市役所では、町内会・自治会の皆さんの「防犯パトロール隊」立ち上げを支援しています(市補助金制度が有りです)。
立ち上げについてのご相談は、町田警察署生活安全課(☎722・0110)、町田市安全対策課(☎724・3254)へ。

人の和で 安全安心 街づくり 入選標語から